

# 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結

昨年、1学期に5年生を対象に実施した全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果がスポーツ庁から送られてきましたので、本校の主な結果概要をお知らせいたします。また、平成28～令和元年度の経年比較したものもあわせてグラフでお示しします（裏面参照）。

## 結果概要

- ・男女ともに、身長・体重ともに全国・大阪府の平均を上回っている。
- ・運動能力調査結果では、男子は、長座体前屈、50m走が、全国・大阪府の平均を上回っている。また、長座体前屈、50m走は、昨年度より上回っている。
- ・女子は、上体おこし、長座体前屈、50m走、立ち幅跳びで全国・大阪府の平均を上回っている。握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、ソフトボール投げは、昨年度より上回っている。
- ・「運動が好き」という問いに肯定的な回答をした割合が、男子は90%を越えているが、女子は80%程度である。男女とも、全国、大阪府平均より下回っている。
- ・「体育の授業は楽しい」という問いに肯定的な回答をした割合は、昨年度より減少した。
- ・「運動は大切」という問いに肯定的な回答をした割合が、男子は全国・大阪府平均を上回り、女子は下回っているが、昨年度よりも増加した。
- ・「運動部に所属」という問いに肯定的な回答をした割合が男女とも全国・大阪府平均より上回っている。

今年度の5年生は、体格（身長・体重）は大阪・全国平均を上回っています。

体力・運動能力全般については、男子は、全国と比べ同程度や上回る項目はありますが、ソフトボール投げと握力が低く、体力合計点は全国を下回っています。

女子は、昨年度よりも全国平均を上回る項目が増え、体力合計点では、全国と同程度になっています。

運動に対する意識（運動が好き、運動は大切、体育の授業は楽しい）では、「運動は大切であると考え、運動は好きである」と分析できますが、体育の授業を楽しんでいる子どもが、女子では70%しかありませんでした。

来年度は、新学習指導要領の本格実施の年です。体育科も他の教科と同じように「主体的で」「対話的で」「深い学び」のある学習を子どもたちに提供します。また、子ども達が運動の大切さや楽しさを感じるような体育の授業づくりについて工夫・研究を重ね、まず、体を動かすことが好きな児童を育てたいと思います。

